

## 来年以降、土木職に従事される新採の人に向けて

京築支部 荻田港務所 山田 哲巳

平成 29 年 4 月 1 日の辞令により、私の職場は「荻田港務所」となった。生まれてからずっと柳川で生活していた自分にとっては未知の土地であり不安がたくさんありました。あと 2 ヶ月ちょっとで配属されて 1 年が経ちますが私は今の職場が楽しいと思っています。強いて嫌なところを言えば、立地が実家から非常に遠いところのみです。そこで、来年以降配属されるかもしれない新採の方々に荻田港務所配属された際のあれこれを文章でまとめます。

まず、職場や仕事内容について。荻田港務所には工務課（土木職）7 名と港営課・庶務課（行政職）13 名の 20 名の少数精鋭で公務に勤しんでいます。1 フロアに全員配置しているので先輩、上司の方の名前と顔はすぐ覚えられます。また 3 つの課がほぼ常に連携して仕事をするため職場に溶け込むことがすぐできます。人見知りの方は最初きついかもしれませんが、最初だけなので頑張ってください。すぐに慣れます（ちなみに私は人見知りがあまりありません）。仕事の内容としましては、とにかく色んなことをします。一事務所目の私なので他の事務所でどのようなことが行われているかわかりませんが、荻田港務所は色んなことをします。アバウトに説明すると荻田港の円滑な運営や発展のための社会資本整備です。当事務所は課が工務課のみなので港湾工事や道路工事、維持工事もします。

福岡県の土木職で港湾に携わることはレアケースらしいので新採で経験するのはラッキーかもしれません。また、新採でも工事費が比較的高い工事を担当できるためやりのなもの毎週満たされていきます。幅広く仕事を体験したい方には非常にオススメの事務所です。唯一私が危惧していることとして、荻田港務所の土木職は課内移動がないため他の同期より早く事務所異動することです。普通 5 年程度で事務所移動があるのですが荻田港務所では 3 年程度で異動があるので、そのときどのような不安などが襲ってくるのか危惧しています。

次に、土木職特有のスポーツについて。土木職はスポーツに力を入れていると入庁する前によく聞きますが、荻田港務所ではひたすら走ります。先にも記述した通り、工務課が 7 人しかいません。野球は最低 9 人、サッカーは 11 人必要、そう足りません。その代わり 1 年中走ります。球技が苦手な私にはラッキーでした。ちなみに私は早い段階で現役時代の体重になりました。

最後に生活のことについて。荻田港務所は名前の通り荻田町にあります。福岡県寮は近くに行橋寮があり、大型商業施設はありませんが、スーパー的なものは不自由ないくらいあります。福岡市からは遠く、JR 特急で（乗り換えが必要）1 時間ちょっとのところにあります。都会は小倉が比較的近くにあります。この文章からわかる通り、田舎です。生活

